

インドネシア政府関係者が横浜サイエンスフロンティア施設を視察

平成 22 年 12 月に日本・インドネシア政府間で「ジャカルタ首都圏投資促進地域（MPA）構想」に関する協力覚書が締結され、マスタープランの策定が進められています。この中で、産学協同の研究開発とビジネスを結ぶ拠点構築に向けて取組が進められています。

このたび、インドネシア政府の担当官が来浜し、先進事例の調査のため「横浜サイエンスフロンティア」の主要施設を訪問しました。

1 概要

日 時：平成 24 年 6 月 19 日（火） 9:30～12:00

場 所：横浜バイオ産業センター（鶴見区）

横浜市産学共同研究センター、リーディングベンチャープラザ（鶴見区）

内 容：○経済局による本市のバイオ施策についての紹介

○横浜バイオ産業センター（YBIC）、横浜バイオ医薬品研究開発センター（YBIRD）視察

○IDEC（横浜企業経営支援財団）による鶴見末広センターの説明

○横浜市産学共同研究センター、リーディングベンチャープラザ視察



2 訪問者

インドネシア技術評価応用庁（Agency for the Assessment and Application of Technology）

Dr. Listyani Wijayanti 副長官（Deputy Chairperson for Agroindustry and Biotechnology）

Dr. Tarwadi センター長（Biotechnology Application Centre）

3 視察の状況

横浜市の新産業創出の取組や施設の運営形態について高い関心を示され、以下のコメントがありました。

- ・インドネシアでは学術研究分野が新たなイノベーションを生み出すことが少ない状況にあるので、横浜の産学の連携した取組を拝見して感銘を受けた。
- ・横浜市産学共同研究センターと同様な機能を持つ施設がインドネシアにもあるので、両施設の連携についても検討したい。

（1）横浜バイオ産業センター、横浜バイオ医薬品研究開発センター視察



（2）横浜市産学共同研究センター、リーディングベンチャープラザ視察

